

生命保険 12 : アカウト型の保険の仕組み

●アカウント型保険とは（利率変動型積立終身保険）

積立部分を主契約とし、定期保険特約や医療保険特約などで保障を確保する保険です。契約者は支払う保険料のうち、保障を得るために使われる部分と、積み立てにまわす部分を一定の範囲内で設定します（保障部分と積立部分の額を変更することもできます）。保険料払込満了時には、それまでに積み立てられた積立部分の残高を使って、終身保険や年金保険などに移行することができる仕組みです。また、保険料払込期間中は、積立部分を取り崩して保障額を増やす・特約を加える、など保障の見直しができます。

●アカウント型保険の使い方

使い方その1

若いうちは、積み立てにまわす額を多く設定し、年齢が進んで多くの保険料が必要になる時期には、積み立て部分を取り崩して保障にあてるという使い方をすると、支払う保険料は保険料払込み期間を通じて一定にすることができます。ただし、積み立て部分の残高によって、終身保険に移行できる額が変わります。

使い方その2

一つの生命保険商品で、さまざまな保障を準備したい場合に向いています。積立部分で損害保険に加入したり、投資信託を購入したりできる商品もあります。

●加入例

例) 死亡保険金 1,000 万円の定期保険特約と入院特約の「保障部分」と「積立部分」の組み合わせ

